

総合教育センターだより

平成12年12月4日 第79号

秋田県総合教育センター

〒010-0101
南秋田郡天王町天王字追分西29番地の76
TEL 018 (873) 7200 (代表)
FAX 018 (873) 7201
ホームページアドレス
<http://www.edu-c.pref.akit.jp/>
すこやか電話相談 018 (873) 7206
" 0120-377-804 (フリーダイヤル)
インターネット接続 018 (872) 1065
学習指導案
エレファンスサービス 018 (873) 7210 (FAX)
パソコン通信 018 (873) 7207



平成12年度第6回公開講演から

演題 「ネットワークで拓く子供の未来」

講演者 大阪教育大学 助教授 田中博之氏

共同研究の立ち上げ

～学校に直結するセンターを目指して～

次長(兼)部長 藤本 豊 隆

平成12年度から、秋田県総合教育センターでは、学校に直結した研究をさらに強化していきます。秋田県の幼・小・中・高等学校における、学年・学級の姿はどうあればよいのか。センターの研究や講座が学校と機能し合うためにはどうしたらいいのか。これらのことを考え、数年ぶりに教育センター全体で取り組む二つの共同研究を立ち上げることにしました。

共同研究1では、学年・学級経営で力になれることはどんなことかを追求します。そこには様々な課題や問題点があるはずです。センターはその方策を探っていきます。また、共同研究2では、秋田県内の民間の人材を発掘して講座に生かすなど、講座や研究の活性化を進めます。そして、センターで経験を積まれた人材が、地域や学校でも活用されることを期待します。

また、教育センターが発行する刊行物が、いつも先生方の座右にあり、十分活用されるよう工夫し、児童・生徒の指導に役立つものとなるようにしていきます。

秋田県教育センターが、二十一世紀も秋田県の教育の中心になって存在していけるよう体制を整え、研究・研修を進めてまいります。

以下二つの共同研究をご紹介します。

(次ページに続く)

目次

- ・共同研究の立ち上げ…………… 1
- ・共同研究1,2の紹介…………… 2
- ・受講者の感想…………… 3,4
- ・各研修部研究の紹介…………… 5
- ・冬のプラネタリウム案内…………… 6
- ・教育研究発表会案内…………… 6

共同研究1・2の紹介

共同研究1

1 教育の現状

現在、日本全国の学校で不登校、いじめ、学級がうまく機能しない等の問題が発生しています。これらは簡単に原因を特定できるものではなく、複合的に多くの問題要素が絡み合っているものと考えられます。

私たち教師には、これらの問題を率直に受け止め、複合的な問題要素から原因を読み解く力としなやかに対応する力が求められています。

2 研究課題について

共同研究1では、現状に見られる多くの課題に対して、学級として、学校として取り組めることは何なのか、問題の発生を抑制する力強い学級、学年を作り上げるにはどうしたらよいか等について追究したいと考えています。

3 研究の方向性

本研究は、「総合教育センターの研究・講座が学校と機能し合うにはどうすべきか（双方向の機能化）」を出発としています。研究の成果を講座に反映し、学校の教育活動にもっと生きていくように進めていきたいと考えます。多くの先生方のご協力をお願いしたいと思います。

共同研究2

共同研究2が取り組んでいることの一つに、講座や研究の活性化があります。受講することによって、その後の教育活動が豊かになるような講座を模索しています。たとえば、以下のようなことを企画していく予定です。

- ・教育センターが新分野の発信源になれるような研究
- ・児童生徒の表現力や発表力につながるような研究
- ・県内の様々な分野の人材を活用した研究
- ・現在4つある各研修部が共同しておこなう研究
- ・受講者とのつながりがさらに深くなるような講座

また、県民のみなさんに教育センターを広く知ってもらうための方策も考えています。多くの人たちから活性化するための意見や講座へのアイデアをいただければ、さらに充実した総合教育センターになると思います。ご意見をお待ちしています。



受講者の感想

初任者研修講座受講者の感想を校種別に紹介します。

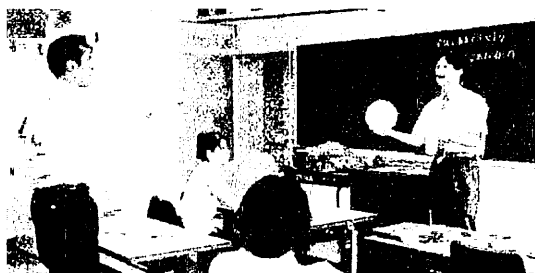
小学校初任者研修「模擬授業」

西目町立西目小学校教諭 佐々木光浩

去る9月23日に、模擬授業研修が行われた。

私の授業自体は、緊張と勝手の違いからだろうか、どこかぎこちないものとなった。だが、自分が経験したことのない授業をいくつか目にし、教材のとらえ方や内容の深め方などが参考になったという点で貴重であったし、同時にスタートラインに立った、それぞれの初任者の意気込みも感じることができた。また、協議も非常に活発で、実践的な話が飛び交うものとなり、とても有意義であったと感じている。

盛りだくさんの内容に対して、時間が限られていたことが残念ではあったが、この講座で学んだ多くのことを、今後の活動に生かしていきたい。



中学校初任者研修「模擬授業」

能代市立能代南中学校教諭 金子 豊

7名の初任者が、数学科と技術・家庭科の2教科合同で各20分間の模擬授業を行いました。数学科の私にとって、技術科のコンピュータを操作する活動と家庭科の折り紙を切り貼りする活動は、どちらも楽しく感じられました。気が付くと生徒になった気分です。授業を受けていました。自分の授業の中でも生徒の論理的・抽象的な思考を高めるために、具体的な操作を取り入れたいと考えていますので、とても参考になりました。研究協議では、他教科の先生方から興味深い意見が出され、話し合いが深まったように感じました。指導方法については、各教科の特性により違いがありますが、共通する部分を確認することができました。



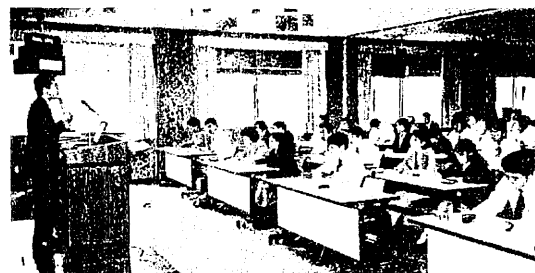
高等学校初任者研修「これからの教育評価」

秋田県立大館桂高校教諭 前田もと子

「評価」とは何か。おそらく、受講した私たち誰もが、「評定」と同じイメージでしか、「評価」というものをとらえられていなかったと思う。

「生きる力」をはぐくむことを最大の目標としている今、私たち教師は常に学習者である生徒の変容を認め、更に自己を反省し、改善していく必要がある。それが「評価」であり、「評価」が生徒をつくっていく。

ともすれば、私たちはわからないことを生徒の責任にしてしまいがちである。今回の研修で学んだことは、私たち一人ひとりの今後の指導に大きく影響すると考えている。生徒の笑顔を守るためにも、日々自己研鑽に努めたいものである。



特殊教育学校初任者研修「事例研究」

研究をまとめる大切さ

秋田県立稲川養護学校教諭 柴田めぐみ

本研修では、事例研究について、これまでの実践経過と今後の課題等を発表し、同じ初任者の実践や取り組み内容を知る良い機会になりました。また、指導主事の先生からも多くの指導助言をいただくことができました。特に、これまで実践してきた支援の手立てをまとめていくことの大切さについての指導助言が印象に残っています。

研究を進めていく過程で、行き詰まったり自分の手立てで良いのか悩んだりということがありました。しかし、これまでの取り組みを振り返り、まとめることで、個に応じた支援の手立てが具体的に見えてくるのだと思います。今後、研究を進める上で大変勉強になった研修でした。



受講者の感想

専門研修講座での「総合的な学習」と「情報教育」の各分野受講者の感想を紹介します。

実践例に学ぶ 「総合的な学習の時間」を受講して

秋田市立桜小学校教頭 津谷ゆき子

教育改革の渦の中、「生きる力」を育てる教育を目指して、本校でも「総合的な学習の時間」の試みを始めている。それぞれの学校での「総合的な学習」の創造は、教師の重要な課題であり責務であると考え、期待をもって本講座を受講した。

講座では、桂城小学校・八郎瀧小学校・横浜市立日枝小学校の貴重な実践発表や千葉大学の天笠茂先生の総合的な学習の実践課題を明確にした講演を拝聴することができた。「学習の品質保障」「地域と子供の実態に合わせて」「校内組織を再編して」「総合的な学習のレベルで教科指導のレベルが分かる」など学ぶことの多い研修だった。子供に生きる教育を求めて、今後も受講したい。



「総合的な学習」をスタートするために

秋田県立雄勝高等学校教諭 福原 克弘

本年度から本校でも「総合的な学習の時間」を実施するため、今回の研修講座から学ぶ点が多くありました。高校では分科会協議に出された秋田和洋女子高校の「レディースライフ」のような取り組みもありますが、これからというところが多いようです。「その時間を進学勉強に使えるのか」とか「次の指導要領では変わるのではないか」などという声も聞こえます。何にせよ新しいことを始めるにはたいへんなエネルギーが必要です。講座では青森県南郷高校の「ナッキータイム」が興味深く、説明の前に堂々と校歌を歌われた先生に驚き感心しました。国立教育研究所の菊地先生が話された「総合的な知」が現代社会と教育の課題に向きあう実践であるという言葉が印象に残りました。



実りある「総合的な学習」を求めて

大館市立成章中学校教諭 早坂芙美子

「どう創る」という講座名に惹かれて、受講しましたが、期待にたがわず収穫がありました。

いま、完全実施に向けてどのようなカリキュラムを創っていくのか、頭を悩ませているところですが、「ユニット」（館山二中）あるいは「ステージ」（大館南中）として年間の学習活動を構成するプランは大いに参考にしたいと思いました。

4月のスタートから試行錯誤の連続ですが、各校との情報・資料交換の中からは、同じような悩みを抱えていることに共感を覚えたり、また生徒を活動させる上でのヒントを得たりと、充実した研修でした。これを生かし、子供たちが成長を実感できる「学習」を創っていきたいと思います。



移動研修講座「はじめて触れるパソコン」

「背中を押してもらって」

秋田県立大館商業高等学校教諭 佐々木由実子

パソコンは自分の仕事をする道具（だから覚える覚ええないは自分の問題）、と思い込んでいることが既に間違い。生徒への情報教育を視野に入ればパソコンを使いこなすことは必須の能力である。（実際はもっと詳細、丁寧な説明でしたが）

「初めて触れるパソコン」などと優しい題名の講座の冒頭で、私はこんなふうに叱られた気がしました。しかし、あっという間に講座内容に夢中になって、表計算やイラスト作り、インターネットにも取り組んで、教材作りの実習。その間懇切なご指導をいただいて、パソコンに対して構える気持ちが消えました。背中を押してもらった勢いでどんどん歩き続けるつもりです。



● 各研修部研究の紹介 ●

平成12年度に総合教育センター各研修部が取り組んでいる研究の概要を紹介します。

基本研究課題 「『生きる力』をはぐくむ豊かで特色ある学校の創造」

(1) 教職研修部

研究課題	研究内容
学校の創意工夫を生かした教育課程の編成－中学校－	<p>教育課程の基準が改訂され、これまで以上に特色ある学校づくりが求められている。そのため各学校では、新教育課程をいかに編成していくかが大きな課題となっている。</p> <p>本研究では、その課題解決のため、学校の創意工夫を生かした教育課程をいかに編成すればよいかを考察する。教育課程編成の基本的な考え方や方法などを確認し、それをもとに、中学校における教育課程の試案を示す。</p>

(2) 教科研修部

研究課題	研究内容
教科の力をはぐくむ遊びやゲームの在り方	<p>実践されている遊びやゲームを吟味するとともに、各教科の目標や内容に照らし合わせながら、教科の力をはぐくむ上で有効な遊びやゲームの在り方について考察する。</p> <p>新学習指導要領で強調されている作業的・体験的な学習も視野に入れ、児童生徒の興味・関心を生かした学習の在り方について考察するとともに、遊びやゲームを通して、楽しい雰囲気の中でコミュニケーション能力を高めていくことも提案する。</p>

(3) 情報教育研修部

研究課題	研究内容
情報通信ネットワークの活用による学校間や学校と地域との交流の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の実践事例や県内の実態などから、情報通信ネットワークを活用した様々な交流についてまとめ、交流の利点および問題点・課題を探る。 ・情報通信ネットワークを活用した交流と情報活用能力の育成との関連を探る。 ・学校間や学校と地域との効果的な交流の在り方を検討し、指導計画の試案を作成する。

(4) 特殊教育・相談研修部

研究課題	研究内容
心を育てる学校教育相談の在り方	<p>不登校やいじめ、暴力行為の問題に加え、学級崩壊等の子供の「新しい荒れ」に対応する学校教育相談の在り方を、「子供の心を育てる」という視点で探る。</p> <p>また、今求められている学校における教育相談を、定着・活性化させるための体制づくりや、実際の場面での対応の在り方を、具体的な実践例を紹介しながら提示する。</p>

☆プラネタリウム教室☆

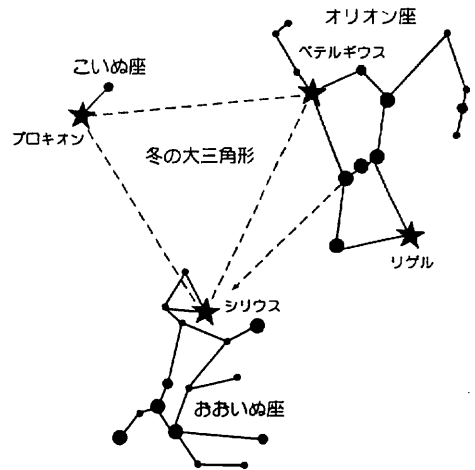
冬休み中の平成13年1月9日(火)、10日(水)に『プラネタリウム教室』を開催します。

プラネタリウムで、番組の上映と冬の星空について解説します。申し込みは必要ありません。ただし、団体でおいでになる場合は前もってご連絡ください。各学校では、児童生徒や保護者の方々に紹介して下さるようお願いいたします。

なお、夏休み中の8月21日(月)、22日(火)に実施された『星の観察教室』には、379名もの参加をいただき、ありがとうございました。

- 対象
小・中学校の児童生徒と保護者
- 期日と時間

期 日	1月9日(火)と10日(水)	
時 間	1回目	午前10時 ~ 午前11時
	2回目	午前11時15分 ~ 午後0時15分



冬の大三角をみつけることができるかな!!

秋田県総合教育センター主催

第 15 回 秋田県教育研究発表会

期日 平成13年2月8日(木)～9日(金)
会場 秋田県総合教育センター

記念講演

演 題 「びっくりニッポン」

講 師 奥羽大学教授 アントン ウィッキー氏



日 程

8日(木)	10:00	10:35	11:15	12:30	13:30	16:00
	受付	教育研究 奨励賞 授賞式	教育研究 発表会 開会式	研究 説明	各研修部の 研究発表	昼 食
9日(金)	9:30	12:00	13:10	15:00		
	受付	分野別研究発表(分科会)		昼 食	記 念 講 演	

※教育研究発表会開会式などを教育情報衛星通信ネットワーク(エル・ネット)で全国に発信する予定です。